

●板橋・加賀地区周辺の整備について

Q 平成31年度から32年度を目標に、東板橋体育館を大規模改修し植村冒険館と複合化する予定でしたが計画がおくれているのでは。

A 〈区民文化部長〉

複合施設の開設時期は平成33年度以降の予定となっております。

Q 王子新道(特に東板橋体育館から金沢橋)の整備への考えは。

A 〈土木部長〉

路面のひび割れやわだち堀れなどが見られる状況であり、早急に補修工事を行うべき路線であると考えます。

●都市計画道路の進捗について

Q 補助87号線の「御成橋から帝京大学前を通り稲荷台交差点を越え北区十条通り」迄の整備がなされれば利便性が飛躍的に向上されます。工事計画は。

A 〈土木部長〉

北区側も板橋区と同じく平成33年度の道路工事を施工して完了させる予定と聞いております。

Q 補助73号線の「中山道から金沢橋を通り北区側」に至る区間については整備計画が進んでいません。特に、中山道のプラザボウルの交差点から金沢橋の道路は歩道幅員が狭く、そのうえ道路の勾配がきつく、加えて幾つもの電柱が歩道の中心部付近に存在しているので、自転車や歩行者の安全な通行にも大変支障を来しております。道路の補修と歩道の整備が必要。見解を。

A 〈土木部長〉

平成30年度、31年度に車道補修および歩道のバリアフリー化を行う予定です。

●板橋区駅前用地(B用地)の一体化活用について

Q 住宅施設も建設するということであるとするならば、板橋駅前再開発事業との調整も必要になってくると思えますがいかがですか。

A 〈政策経営部長〉

板橋駅西口再開発準備組合とは相互に調整を行いながら進めているところでございます。

ポイント

板橋・加賀地区では、東板橋体育館への植村冒険館の複合化をはじめ様々な事業が展開される予定となっております。さらに平成30年4月には、加賀児童館の跡地に認可保育園が開設される予定です。他の実施計画や個別整備計画と連携し、一体的に考え整備を進めていかなければなりません。

Profile



田中しゅんすけ

- 生年月日
1968(昭和43)年3月12日東京都板橋区生まれ
- 明治大学付属中野高等学校
明治大学政治経済学部経済学科を卒業。
- 広告代理店(企画営業)勤務を経て下村博文
文科大臣の秘書として14年(内、公設第二秘書
4年8ヶ月・公設第一秘書2年・政策秘書4年)
活動し、平成23年板橋区議会議員に初当選、
現在2期目。

皆様のご意見
ご要望を
お聞かせ下さい!

田中しゅんすけ事務所



<http://www.syunsuke-tanaka.jp/>

